

達成状況評価書(平成24年度)

部局名: 極限量子科学研究センター

項 目		コメント
1. 教育 (大学の年度計画: 1~7)	教育に関する年度計画の達成状況	<p>【年度計画の達成状況】 該当なし。</p> <p>【特記事項】 該当なし。</p> <p>【留意事項】 該当なし。</p>
2. 研究 (大学の年度計画: 8~10)	研究に関する年度計画の達成状況	<p>【年度計画の達成状況】 平成24年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成24年度は、グローバルCOEプログラム「物質の量子機能解明と未来型機能材料創出」の事業推進者としてプロジェクトを推進した結果、25編の論文と、60件の国際会議発表を行うなど積極的に取り組んでいる。また、強磁場施設を学内外の共同利用に供し、全体で43件ほどの共同研究を行うなど、積極的に取り組んでいる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
3. その他 (大学の年度計画: 11~16)	(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流	<p>【年度計画の達成状況】 平成24年度は、適切に実施しており、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 特になし。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
4. 業務運営 以降 (大学の年度計画: 17~29)	業務運営全体に関する年度計画の達成状況	<p>【年度計画の達成状況】 平成24年度は、特筆すべき取り組みが行われており、計画は上回って達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成24年度は、学術会議マスタープランに掲載中の強磁場コラボトリー計画を推進するため、高圧・強磁場複合極限施設整備のための補正予算12億円を獲得するなど、積極的に取り組んでいる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
5. 全体の項目に関する達成状況		<p>【中期計画の達成状況】 中期計画の達成に向けて、年度計画は順調に遂行されていると判断できる。引き続き、現行の取組を維持するよう期待する。</p> <p>【特記事項】 平成24年度は、学術会議マスタープランに掲載中の強磁場コラボトリー計画を推進するため、高圧・強磁場複合極限施設整備のための補正予算12億円を獲得するなど、積極的に取り組んでいる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>